

5. 特別活動と課外活動

① 特別活動

特別活動として「総合活動」と呼ばれる活動をおこなっています。一般には児童会活動に当たるものですが、本校では「学校みんなのために働く時間」として、5・6年生全員が週1時間、希望登録制で15のプロジェクトに分かれて活動しています。

◎総合活動(5・6年)

総合プロジェクト	学校全体のルールを考えたり、総合活動全体のとりまとめをしたりしています。その他、赤い羽根共同募金や生活習慣の向上キャンペーンなどもおこなっています。
宗教プロジェクト	礼拝や祈祷会で奉仕をしたり、献金や募金のお世話をしたりしています。CFJ（チャイルド・ファンド・ジャパン）やJOC S（日本キリスト教海外医療協力会）の活動、日本謠話学校との交流などもおこなっています。
学習センタープロジェクト	2つの学習センター（図書室）のカウンター業務（本の貸し借り）を担当しています。また、読書への興味が高められるように、本の紹介POP作りや本に関わるようなクイズ大会の開催もおこなっています。
保健プロジェクト	初等部の健康目標「自分の身体は自分で守る」に従って月ごとの目標を話し合い、1～6年生の各クラスに伝えています。その他、けがの種類や場所、時間帯を調査してポスターにまとめ注意を促す活動もしています。
環境プロジェクト	校内の環境を良くするために、下足室などをきれいに使うための注意点の発表、落とし物を集めて持ち主を探す落とし物コーナー、ペットボトルキャップ集めキャンペーンなどの企画も行っています。
給食プロジェクト	学校給食の季節メニューを考えたり、食堂給食の時にマナー向上のスピーチなどをおこなったりしています。配食図を描いたり食事のマナーに関する校内放送用のCMを作ったりもしています。
放送プロジェクト	撮影・編集機器の扱い方を学び、「初等部かわらばん」の撮影・編集と放送をしています。その他、初等部生活をよりよくするための校内放送用のCM作りもしています。
新聞プロジェクト	初等部で起きたニュースやみんなに伝えたいこと、リクエストがあったことについて取材し、記事を書いて「緑の新聞」として発行しています。
運動プロジェクト	みんなが楽しく体を動かせるように、遊び場所の使い方やルールについて考えます。しっぽ取り大会や大縄大会を企画したり、ラジオ体操のお手本を見せたりしています。
ホームページプロジェクト	取材したことや撮りに行った写真を活用して、初等部のニュース記事や初等部のひみつや特色を紹介する動画を作っています。作ったものは順次、初等部ホームページにアップされています。
販売プロジェクト	購買会と協力し、初等部で使っているノート販売のワゴン当番を行っています。その他、大学購買部に見学に行ったり、物品販売の仕組みや販売業について学んだりもしています。
校庭プロジェクト	校庭の芝生の世話をしています。その他、校庭での遊び方に関するルール作りや、みんなが楽しく安全に遊べる場所作りを話し合っています。
防災プロジェクト	防災に関する正しい知識を身につけるため、防災体験館等に行ったり調べたりします。また、避難訓練の前に動画を作成してポイントを伝えたり、訓練後に反省点を伝えたりして、正しい知識を全校に発信しています。
5年プロジェクト	5年生の生活をよりよくしていくために活動しています。ファミリーフェアで仕事を手伝ったり、学年行事の一部を企画したりしています。
6年プロジェクト	学校全体に関わることを話し合って決めたり、学年・学級から出された意見や考えをとりまとめたりしています。学校行事や学年行事を支えるための企画や準備もしています。



学習センタープロジェクト（貸し出し）



販売プロジェクト（ノート販売）



環境プロジェクト（美化活動）



校庭プロジェクト（芝刈り）



宗教プロジェクト（社会福祉法人訪問）



5年プロジェクト（学年イベント企画）

児童の日記から

今日は、5年プロジェクトであいさつのことについて考えましたが、家でも考えてみました。笑顔であいさつされるとうれしくなるし、自然と自分もあいさつできるようになります。

どうしてあいさつが大事かも考えました。

- ・みんなが気持ちのいい学校生活が送れる。
- ・知らない子などと仲良くなれる。
- ・あいさつをしていると下級生もまねしてよりよい学校になることができる。

どうしたら、みんながあいさつをするかは難しいです。わたしは、一週間の終わりにみんながあいさつをできたか、いろいろな先生方に聞いてみるのはどうかなと考えてみました。みんなであいさつをして、よりよい気持ちのいい学校生活を送りたいです。（5年プロジェクト児童）

プロジェクトの初仕事がありました。何をしたかという、きとう会の見守りと聖句カード配り、礼拝のゆう導をしました。ぼくは、「ちゃんとうまくできるかな、失敗しないかな。」と言っていたら、先ばいの6年生が、「大丈夫だよ。」と言ってくれました。明日もあるので楽しみです。（宗教プロジェクト児童）

② 課外活動

「クラブ活動」を課外活動としておこなっています。12のクラブがあり、放課後や土曜日に活動しています。クラブへの登録は自由なのでクラブに入らない子どももいますが、3年生以上のクラブ登録率は95%をこえています。クラブの中には、聖歌隊やベルクワイアといった、礼拝で奉仕をするクラブもあり、本校の特色の1つと言えます。

◎クラブ活動

クラブ	対象学年	
聖歌隊	3～6	日々の礼拝奉仕、イースター礼拝、お母さんへの感謝のつどい、クリスマス讃美礼拝、入学式、卒業式、学院全体で行う「点火祭」などで歌の奉仕をしています。その他、各種演奏会にも出演しています。
ベルクワイア	3～6	日々の礼拝やクリスマス讃美礼拝などでハンドベルの演奏の奉仕をしています。近年ではヒカリエでのハンドベルコンサートなども行っています。
ラグビー	3～6	1953年創部の日本で最も古い少年ラグビーチームです。学年別に専門コーチや卒業生のボランティアの方の指導を受けています。5・6年生になるとチームを組んで他校との試合を行っています。
女子スポーツ	3～6	いろいろなボールゲーム、バトントワリング、リレー、体力づくりなどをしながら、楽しくスポーツをしています。私学の体育発表会のダンス部門にも出場しています。
水泳	2～6	泳ぐ力に応じて、グループに分かれて練習をしたり、長い距離を泳いだり、ゲームや水遊びをしたりしています。2年生が入れる唯一のクラブです。
トランペット鼓隊	3～6	トランペット、ホルネットを中心とした金管楽器と、打楽器で構成されており、運動会、初中高大合同ブラス演奏会、チャペルコンサートなどで演奏しています。
美術	4～6	美術クラブでは油絵制作やデッサン、クロッキーを中心に活動しています。ものの見方や描き方のコツ（テクニック）なども学びながら自由に楽しく絵を描きます。作品は学内・学外さまざまな展覧会に出品しています。
アマチュア無線	3～6	無線の免許を取る学習をしたり、電子工作をしたりしています。6年生はロボットを作り、簡単なプログラミングも学んでいます。
英語	3～6	青山学院大学の留学生と共に、会話や歌、ゲーム、劇などを通し、楽しみながら英語を使う活動を行っています。また、季節に合わせてハロウィンパーティー、クリスマスパーティーをしています。
自転車	4～6	通常の活動では自転車の操作技術を練習したり、安全な走行について警察署の方から学んだりしています。土曜日を使って多摩川サイクリングコースを走ったり、6年生が企画したコースを走ったり、チームを組んで自転車レースに参加したりしています。
ランニング	5～6	短距離走、リレー、中長距離走、駅伝など、年間を通してさまざまな走りを楽しんでいます。大学陸上部との交流練習会を行ったり、公式大会へ参加したりもしています。
探検劇場	4～6	「いろいろな物や場所を探ったり（探）調べたり（検）したい」という子どもの欲求を実現できる場面（劇場）を与えたいという気持ちから探検劇場クラブという名前がつけられました。野外調理や、学校での寝泊まり会、離島での合宿などを行っています。



トランペット鼓隊（運動会での演奏）



ラグビー部（合宿）



ランニングクラブ（大学陸上部との合同練習）



英語クラブ（通常活動）



自転車クラブ（ツーリング）



探検劇場クラブ（合宿）



ベルクワイア（礼拝での奉仕）



女子スポーツクラブ（運動会での演技）

③ 短期留学

【止揚学園】

滋賀県東近江市にある止揚学園に4年生から6年生の希望者が3泊4日の短期留学をします。止揚学園は、知能に重い障害を持つ人たちの施設です。

毎年、止揚学園の方々に迎えられ、やきそばパーティの歓迎会から始まり、運動会、貼り絵、散歩などのプログラムを通して交流します。子どもたちは、この交流を通して「生きるとは何か」「幸せとは何か」を考えます。毎年継続して参加する児童がとて多い行事です。



児童の作文から

(前略)

私が特に、みんなと仲良くなれたのは、2日目の午後に行われた運動会です。運動会では、名前当てクイズとリレーを行いました。私は、リレーが心に残りました。それはなぜかという、私のグループには、トヨコさんがいました。1回目、トヨコさんは保母さんと走りました。トヨコさんは、全然走らなくて、最初は歩こうともしませんでした。でも、2回目、私が一緒に走った時、つないだ手から、トヨコさんはいまトヨコさんにできることを、一生けん命やっているんだと感じました。私はこの時から、止揚学園のみんなとたくさんおしゃべりをするようになりました。そして、これがきっかけでたくさんの人と仲良くなれました。だから私は、トヨコさんに感謝しています。

私は、ここに来て、考え方を一から学んだ気がします。弱い立場の人のことをよく考えて行動する心、小さなことにも喜べる心、わたしたちはみんな一緒なんだという……。他にもたくさん学びました。私は6年生だから、もう止揚学園には行けないけれど、今回教えてもらったことを、つねに心に留めて生活していこうと決めました。(6年生児童)

【北陸学院小学校】

石川県金沢市にあるキリスト教主義学校の私立北陸学院小学校に、5・6年生の希望者が短期留学をします。現地では、3泊4日ホストファミリーと生活を共にします。平日は、北陸学院小学校で礼拝や授業などをいっしょに受け、楽しい豊かな交流のときを持ちます。

【秋田金足西小学校】

秋田県にある秋田市立金足西小学校に、5・6年生の希望者が短期留学をします。隔年で、訪問及び受け入れを行っています。現地では、3泊4日ホストファミリーと生活を共にします。お互いの校風や文化を理解する良い機会となっています。

【海外ホームステイ】

オーストラリア・クイーンズランド州ヌーサにあるキリスト教主義の私立学校であるグッドシェパード校で、夏休み2週間のホームステイプログラムを実施しています。

また、2018年度から16日間のイギリス短期留学も実施しています。芸術や演劇を通して、英語の研修と国際交流を行っています。世界中から集まった仲間と共に、ミュージカルを創るというアクティビティを通して、新しい視点から知識・表現方法・語学力を学ぶことをねらいとした短期留学です。

【フィリピン訪問プログラム】

毎月初等部でお捧げしている献金の一部は、CFJ（チャイルド・フアンド・ジャパン）を通してフィリピンの貧しい子どもたちのために用いられています。そのプログラムの一環として、毎年3月に5年生数名と教員がフィリピンを訪れ、初等部がサポートしているフィリピンの子どもたちと交流しています。初等部、中等部、高等部、大学で共通のプログラムを実施し、「本当の豊かさとは何か」「幸せとは何か」などの大きなテーマを共に考えます。



児童の作文から

私がフィリピンに行こうと思った理由は、わたしたちが支援しているフィリピンの子どもたちに会いたかったからです。頭の中の半分は「ヤシの木に登ったら楽しそうだなあ」ということでした。しかしフィリピンについたとたん「遊ぶ」と考えられなくなりました。フィリピンの現状を知ったからです。（中略）

「幸せ」とは何なのか。また、日本は幸せな国なのか考えてみました。日本は幸せな国で、フィリピンは幸せな国じゃないかという、わたしはどちらも違うと思いました。「幸せ」はモノがあればよいのではないと思うようになりました。確かにモノは必要です。でも、わたしは「人とのかかわり」も「モノ」と同じくらい大切だと思います。そのことを強く感じたのはギマラスでの出来事です。（中略）

私が人とのかかわりについて感じたのは、わたしたち日本人にとっても優しく接してくれた現地の子どもたちとのかかわりだけでなく、フィリピン人同士の関わりもです。特に近所でのかかわりです。私たちのために集まってくれたのは、みんなご近所さんでした。わたしはマンションに住んでいます。私の住んでいるマンションには子どもがたくさん住んでいます。それでも顔を知っていて話したことがある子どもは10人に満たないと思います。フィリピンにはマンションがあるわけではありません。それでもご近所さんの友だちがたくさんいます。日本とは全くとちがうなと思いました。

ギマラスで学んだことは「ギマラスの人はモノの幸せではなく人とのかかわりの中で幸せを作っている」ということです。はっきりいうと確かにギマラスには日本に比べてモノはありません。でも人との関わりの面では日本にはない優れたものがありました。（後略）

（5年生児童）